

埼玉労山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙 発行:武笠真次
 〒336-0011さいたま市浦和区高砂4-1-5 ふじビル2階 編集:青木 正
<http://www.justmystage.com/home/tozans/index.html>
<http://www.justmystage.com/home/tozan/>

第11回理事会報告

第14期登山学校閉校式

西部B初級雪山訓練-黒斑山

理事会報告

第十一回理事会を二月二十四日(水)浦和県連事務所にて於いて十五名の出席で行いました。

委員会等活動経過報告・計画予定

【全国連盟活動】二月二十一日

第二十九回総会 晴海グランドホテル
 武笠理事長、徳重副理事長出席、傍聴・矢崎副理事長佐藤副理事長・木阪事務局長

【事務局】2/4三役会議

*全国連盟総会について
 *案内を各会に発送済2/21
 *次回3/4
 県連総会案内書作成発送済

【財政】二月二十四日に会計締め切り

【ホームページ】深谷山の会・秩子クラブ・浦和山の会・秩父アルペンクラブ紹介掲載・女性委員会お知らせ・新座山の会公開ハイキングお知らせ掲載

【女性】2/26第4回関東B交流会

スノーシュー・沼尻高原ロッジ)埼玉十名参加・全体十八名

3/6「応急手当」講習会・藤樹講師(岩つばめ)全国遭対部・MAインストラクター
 ・2/22「女性委員会」にて参加者確認十八名、全体で

二十三名。群馬県連 太田 氏も参加

【自然保護】足尾銅山植樹四月二十五日決定(詳細は未定)

【救助隊】2/7土合山の家、付近で講習、訓練の確認と会場使用の打ち合わせ

「役員会」・北浦和労働会館 2/15 県連理事&第6回役員会

【登山学校】2/6 北浦和・労働会館13:00開場、閉校式。会計報告

閉校式参加十四名。浦和山の会四名入会。三名は三郷又は大宮に入会の可能性

【山スキーネット】3/7 県連山スキー・那須連邦、三本槍岳東方・那須スタレ山(880m)、中の大倉尾根

加盟団体活動情報

西部B 2/21 初級雪山「黒斑山」二十四名参加

南部B 会計報告 2/13~14 スノーシューバスハイイク「裏磐梯」二十一名参加

中部B 3/3 会議・3/13~14 雪山交流山行「日白山」

議題

1. 全国連盟第二十九回総会決議事項報告

議題・1. 第二十八期下期の活動総括と第二十九期上期の活動方針

2. 創立五十周年記念行事について

3. 「労山新総合戦略」の進捗状況と「個人会員制」について

4. 第二十八期の財政活動総括と決算報告及び29期の財政方針、予算の策定

5. 全国連盟役員選出、その他

・特別基金は今後も共済適用除外を求めていく。

・今年度は十四名の遭難死亡事故があり、余剰金より持ち出し有り。

・個人会員制は、一年間討議し、評議会で検討する。

・全国連盟で都道府県と同等の受け皿を作り、個人会員を組織する。

・山行管理も自動管理システムを採用していく。

・三年ないし、それ以上検討結果を踏まえて地方連盟に根ざす。

2. 第四十三回県連総会

H二十二年三月二十八日 場所・カルタスホール

地図とホール案内添付資料配布、全国連盟第29回総会報告、総会資料作成・印刷

※各専門委員会の活動報告・活動方針提出

「議長」西部・南部

「書記」中部・北部
 理事全員参加。

(各ブロックで依頼し、次回理事会で発表。)

司会・徳重 会計・受付・廣岡・佐藤・長谷川・嶋田

懇親会・徳重 資格審査・矢崎 横断幕・木阪

3/27 議案書印刷 パルコ PM12時より

次期役員最終確認:3/24

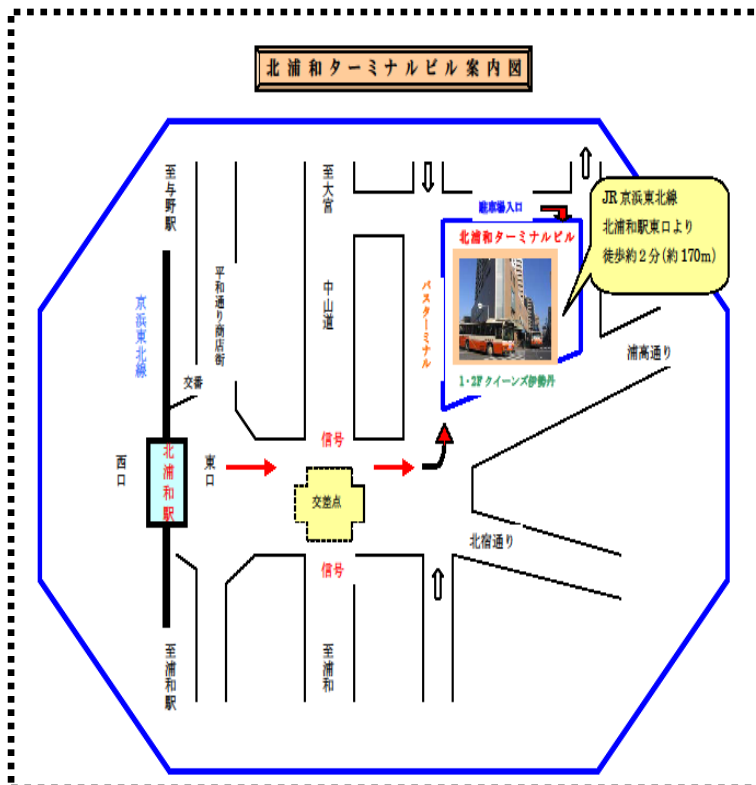
3. 関東ブロック深雪搬出訓練について:実施要綱

&訓練内容、理事支援体制
 二月二十七~二十八日 於:土合山の家

2/26 先発隊7名(若木・佐藤・加納・廣岡・徳重・谷脇・三宅)

宿泊:七十五~七十六名。受付2/27 九時三十分、担当打合せ 9時

4. その他
 来年度予算:増額なし。
 クリーンハイイク:6/6 (5/30実施ブロック有り)



第43回埼玉県勤労者山岳連盟定期総会のお知らせ

日時:2010年3月28日
 場所:カルタスホール(日)北浦和東口ターミナルビル
 (JR京浜東北線北浦和駅東口より徒歩2分)
 受付(午前9時より)開会(午前9時30分)
 各会代議員の方の出席をお願いします。
 尚、欠席の場合は委任状の提出をお願いします。



登山学校 14期閉校式

「埼玉登山登山学校十四期を受講して」

私が登山学校を受講することになったのは、友人の一言がきっかけでした。「趣味でハイキング講座に通っているが、経路から全て講師の先生に任せきりでいつまでも知識が身につかない。このままでは良くないので登山学校に参加するつもりだ」というものです。

なんと殊勝な心掛け、ぜひ私も一緒に、受講を決めました。とは言うものの、私は特に山の専門知識をつけたいというよりは健康増進に役立てば、と思うくらいに決意でした。加えて新しい趣味を持ったら新しい世界が広がって、もしかしたらそこに新しい出会いがあるかも知れないという淡い期待がオマケであるかないか：。そんな理由から始まり、あつというまの登山

学校十四期を履修したのでした。さてその登山学校、詳細を記しますと、まず年会費は二万円でした。私は相場を知らなかったのですが、後に登山用品店主宰の登山学校を調べてみたら一講座二万円とのこと。ずいぶんと良心的な価格設定です。そして、全部で8回の講座がありました。

実施の山行の際は安全登山を第一に運営委員の方々が丁寧に付き添って下さりビギナーでも安心して山に挑むことができました。ですがまれに、写真撮影の為に班付の委員の方がいなくなり、班が受講生だけでどちらへ進んでいいかわからず往生することがあったり委員の方がサンダルで岩を登ってしまったり皆を待たせたら迷惑になると焦りを誘発させる発言をされたり「安全？」と首を傾げる瞬間がないわけでもないのです。ですがこんなことは本当に稀で、数々の素晴らしい体験をすることができました。特に岩登りと雪山山行は、登山学校を受講していませんと体験することのできない大変興味深い内容でした。

い筋肉を使って自分の体を押し上げていく感覚や岩のデコボコのどこかを足掛かりに決める判断力、普段は歩けないところなのに雪の上なら歩いて行ける特別な感じ、初めてのことがばかりでわくわくし通してました。ちなみに出会いに関して申し上げると、二十年前はさぞ凛々しかったであろう面影のある山男な人々とは、この登山学校でたくさん出会ったことが出来ました。皆さんお金持ちなのか、たいそう立派な装備をお持ちでした。専門性の高い山用品は総じて高額で、月々の飲み代をひつ迫されました。ですが、安全の為に装備に出し惜しみをしてはいけません。例えば雪山山行ではピッケルとアイゼンを携帯しました。これは、あまりにも高額な用品である為に、運営委員の方々が方々から受講者の人数分レンタルしてきて下さいました。その山行自体、ピッケルが必要な箇所はなかったというお話でしたが道具になれて欲しかったとの由。

ただ持ち歩くだけで道具になれたといえるのかどうか、素人なのでよく分かりませんが、ピッケルはかさばるし、とがっているのが危険、ということが分かっただけでも収穫でした。というわけでこのような山行を一年に8回もこなしてきた訳です。なんだかんだでそれなりに山の装備も充実してきました。もったいないのでたくさん使っちゃいます。中古品にしたいと思えます。それに現役の山男達は、どうやら難しい山に集まっているようです。ならば私も、そこに馳せ参りたい。そのためには、もっと山に慣れなくてはなりません。もちろん安全第一です。この登山学校十四期のおかげで、これからの趣味の世界がますます広がります。運営委員の方々のご尽力に感謝です。安全確保の為に、道具確保の為に、奔走してください。運営委員の方々に心より厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

朝霞市 中伏 智子
「登山学校での体験を通して」

登山をしてみようと思いましたが、まず何かをすればよいのやら何かわからず、「これはまず誰かに教わらないといけな

い」と考え、インターネットでいろいろ探していたところ、勤労者山岳連盟の登山学校を見つけました。地元埼玉で、しかも自宅から近い場所での講習とのこと。「これはもう行くしかないだろう」ということで申し込みをしました。特に誰かと一緒というわけでもなく、周りにはみんな知らない人ばかり。多少の不安を抱えつつ初回のガイダンスに望みましたが、そんな不安は不要でした。皆さん親しみやすい方ばかりで安心しました。

全8回の講義で机上と実技。事前に話を聞いて、翌日実技という方法はよく理解できました。登山は計画からが大事なことです。また計画から楽しめること。何はともあれ相應の体力が必要であること。セルフレスキューの大切さ。地図、コンパスが使えることの大切さ。クライミングの楽しさ(危険さも併せて)天候を読むことの大切さ。雪山でのアイゼン体験。などなど：。繰り返し学ばないと身につかないものばかりですが、自分だけで始めていたら「できなかったこと」をたくさんできなかったこと」をたくさん

「第十四期登山学校閉校式を迎えて」

早いもので昨年五月の閉校以来すでに全8回の講座が修了し、二月六日に登山学校の閉校式が受講者および運営委員のみなさんの出席のもとに行われました。この紙面をお借りして私なりに年間の講座を通して思ったこと、感じたことなどを書かせて頂きたいと思えます。

開校した当時、私はまだどこの会にも所属しておらず、見ず知らずの人たちの中に飛び込むような気持ちで参加しましたが、いざ講座がスタートしてみると非常に楽しく、月に一回の講座を待ち遠しく思うようになりまして。

各講座の内容については毎月受講者の方が持ち回りでこの機関紙に報告されていますので省略しますが、

い筋肉を使って自分の体を押し上げていく感覚や岩のデコボコのどこかを足掛かりに決める判断力、普段は歩けないところなのに雪の上なら歩いて行ける特別な感じ、初めてのことがばかりでわくわくし通してました。ちなみに出会いに関して申し上げますと、二十年前はさぞ凛々しかったであろう面影のある山男な人々とは、この登山学校でたくさん出会ったことが出来ました。皆さんお金持ちなのか、たいそう立派な装備をお持ちでした。専門性の高い山用品は総じて高額で、月々の飲み代をひつ迫されました。ですが、安全の為に装備に出し惜しみをしてはいけません。例えば雪山山行ではピッケルとアイゼンを携帯しました。これは、あまりにも高額な用品である為に、運営委員の方々が方々から受講者の人数分レンタルしてきて下さいました。その山行自体、ピッケルが必要な箇所はなかったというお話でしたが道具になれて欲しかったとの由。

ただ持ち歩くだけで道具になれたといえるのかどうか、素人なのでよく分かりませんが、ピッケルはかさばるし、とがっているのが危険、ということが分かっただけでも収穫でした。というわけでこのような山行を一年に8回もこなしてきた訳です。なんだかんだでそれなりに山の装備も充実してきました。もったいないのでたくさん使っちゃいます。中古品にしたいと思えます。それに現役の山男達は、どうやら難しい山に集まっているようです。ならば私も、そこに馳せ参りたい。そのためには、もっと山に慣れなくてはなりません。もちろん安全第一です。この登山学校十四期のおかげで、これからの趣味の世界がますます広がります。運営委員の方々のご尽力に感謝です。安全確保の為に、道具確保の為に、奔走してください。運営委員の方々に心より厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

朝霞市 中伏 智子
「登山学校での体験を通して」

登山をしてみようと思いましたが、まず何かをすればよいのやら何かわからず、「これはまず誰かに教わらないといけな

い」と考え、インターネットでいろいろ探していたところ、勤労者山岳連盟の登山学校を見つけました。地元埼玉で、しかも自宅から近い場所での講習とのこと。「これはもう行くしかないだろう」ということで申し込みをしました。特に誰かと一緒というわけでもなく、周りにはみんな知らない人ばかり。多少の不安を抱えつつ初回のガイダンスに望みましたが、そんな不安は不要でした。皆さん親しみやすい方ばかりで安心しました。

全8回の講義で机上と実技。事前に話を聞いて、翌日実技という方法はよく理解できました。登山は計画からが大事なことです。また計画から楽しめること。何はともあれ相應の体力が必要であること。セルフレスキューの大切さ。地図、コンパスが使えることの大切さ。クライミングの楽しさ(危険さも併せて)天候を読むことの大切さ。雪山でのアイゼン体験。などなど：。繰り返し学ばないと身につかないものばかりですが、自分だけで始めていたら「できなかったこと」をたくさんできなかったこと」をたくさん

(2面より続く)

毎回机上・実技の講習の後で行われた「補講(飲み会、とも、いうようですが)」にもほぼ出席させてもらい、山に関するいろいろな質問に答えてもらったり、貴重な体験談を聞かせてもらうこともできました。

また登山学校に入ったことで沢山の知り合いができて、実に多様な山の楽しみ方があることも知りました。それと同時に自分がこれからチャレンジしていきたい山のスタイルの様なものも少しずつ見え始めましたが、これは入校前のように単独で山へ行っているだけでは決して分からなかったことでしょうから個人的にはとても大きな収穫でした。

思い返してみれば歩行技術からロープワークまで、非常にたくさんあることを登山学校で学んだわけですが、学んだことを単なる知識で終わらせることなく、自分の技術として身につけていかなければ本当の意味でのレベルアップにはならないとわたしは考えます。

このことを常に意識して今後の山行を続けて行きたいと思っています。最後に受講者の安全に細

心の注意を払いながら充実した内容の講座を一年間続けてくださった運営委員のみなさん、そして一年間山行を共にしてくださった受講者のみなさんに感謝致します。そしてこの機関紙の読者の方で登山学校に関心をお持ちの方がいらしたら、ぜひ来期の登山学校に入校して頂ければと思います。浦和山の会 井上 達夫 二月六日開校式、参加受講者十四名、運営委員十三名

西部B初級雪山訓練 黒斑山「カモシカもびつくりの好眺」 (二月二十一日)

加納隆夫(新座山の会) 記
まだ夜も明け遣らぬ「ふじみ野駅」三々五々ザツクを背負いピッケルを手に集まる二十四名。天候は快晴。気温4℃。風なし。絶好の登山日和を感じさせる。バスは6時予定時間通り出発。所沢から関越高速道路に入る。小諸を降りてチェリーパークラインを登っていく。途中から曇ってきた。ところが車坂峠まで来ると再び晴れてきた。雲海の上に出たのだ。九時十五分高峰温泉ホテル前に到着。快晴。気温マイナス9℃。風は殆どなし。九時四十五分二十四名を二班に分け出発。

操作の訓練をする。十四時三十分高原ホテル前に全員無事到着。さっそく雲上の温泉でゆつくり汗を流しながら今日の素晴らしい雪上山行を思い返した。湯から上がったの生ビールはまた一入。十六時出発。帰りのバスの中では今日の雪山訓練登山について一人ずつ自己紹介と感想をのべ親睦を深めた。こんな雪山訓練なら何回参加してもいいなあ。バスは藤岡の合流手前から花園を過ぎるまで渋滞。しかし、その後は嘘のように流れが良くなり二十時にはふじみ野駅前に到着。多くの人は朝と同じように三々五々家路に着いたと思う。そうでなく居酒屋で反省会を開いた人もいたようだ。きつといい反省会が出来たことだろう。

も無くロケーションもコンディションは最高だア！それにしても混成メンバーなのにまとまりが良いのは驚いた、ツアー登山ではこうは行かないと思う、やがて避難小屋に到着。若木リーダーからピッケル、アイゼン装着の指示。山頂までは行かず途中で引き返す予定だったが、リーダーの登山道の状況判断、時間配分は良かったと思う、ここからトミーの頭までは急斜面で慎重に登った、黒斑山山頂に十二時十分到着後、ごったがえしていたのでトミーの頭で短い昼食を取るがさすがに稜線は風が強く寒かった、あとはロケーションを楽しみながらの下山、途中で訓練が行われた、ピッケルを支点にロープを使い人を引き上げる作業、耐風姿勢の取り方等、大変勉強になった。車坂峠に到着後ホテルで入浴。ふじみ野駅に十九時五十分到着。西部ブロックの登山には初めて参加しましたが、楽しくもあり勉強にもなり次回も参加させて戴ければと思います。又富田さんはじめ各Cリーダー、Sリーダーには御世話になり有り難う御座いました。



十四期終了後、三名の方が 労山の会に入会し、他三名 の方が会を選択中で、運営 委員として嬉しい結果となりました。

アイゼンは装着せず表コースで黒斑山に向かう。気温が低いため歩くたびに雪が靴の下でキュッキュッと鳴く。シラビソ樹林の間に多くのシヤクナゲが見られる。初夏にはピンクの美しい花を咲かせることだろう。アップダウンを繰り返して、一時十五分シェルターに出会う。これは噴火時の噴石避けだとか。やがて槍ヶ梢

奥には針ノ木岳・爺ヶ岳・鹿島槍・五竜岳・唐松岳・白馬三山、手前に戸隠連峰と雲ひとつないスカイラインが見える。この時期にこれほどハッキリ遠方の山々が見えるのも珍しいと思う。十二時三十分素晴らしい風景に後ろ髪を引かれる想いで出発。同じルートを下る。途中、車坂山下で滑落防止のピッケルワークやザイル

西部ブロック初級雪山登山
金井國男(所沢HC) 記
夜が明けやらぬ、ふじみ野駅からマイクロスズで車坂峠へ。雲がかかり天気がか配で有ったが峠に着くと快晴、雲海を抜けた。

私は1班に編入されメンバーの確認を済ませ表コースをゆつくりと登り始める、風も無くキュッキュッと雪を踏みしめながら寒く

埼玉労山登山学校 第15期 生徒募集開始!

主催：埼玉県勤労者山岳連盟

埼玉労山では昨年に続き初級者登山学校を開校し、年間を通して登山の知識・技術を学べる場を設けます。安全に登山するためには学習が欠かせません。基本的な知識や技術を学びたい! そして次へのステップを考えている方、是非受講してみませんか。

説明会と開校式 5/22 (土) PM 2:00 より

会場：カルタスホール 交通：JR 京浜東北線 北浦和駅東口 徒歩2分(北浦和ターミナルビル内)

当日のスケジュール 14:00 開会 15:00 「登山学校」ガイダンス

16:00 入学受付 16:30 第1回講座「計画から下山まで」の案内 17:00 閉会

●お問合せ先 事務局 駒崎 TEL/FAX 048-431-1424 〒335-0001 蕨市北町4-8-6-122 (※できるだけ夜間に)

●年間講座 日程・場所 (※6月はクリーンハイキングが第1週の為、第2週に変更になりました)

区 分	机 上	実 技	机上場所	実技場所
説明会・開校式	5/22 (土)		カルタスホール	
①計画から下山まで	6/12 (土)	6/13 (日)	〃	未定
②登山と運動生理★	7/3 (土)	7/4 (日)	〃	未定
③山での救急法 ★	8/7 (土)	8/8 (日)	〃	未定
④地図の読み方 ★	9/4 (土)	9/5 (日)	〃	未定
⑤岩登り(初級) ★	10/2 (土)	10/3 (日)	〃	未定
⑥天気の見方 ★	11/6 (土)	11/7 (日)	〃	未定
⑦総合学習登山	12/4 (土)～5 (日) (実技のみ)			未定
⑧雪山歩き ★	11/1/15 (土)	1/16 (日)	カルタスホール	那須岳(栃木県)
閉校式	2/5 (土)		〃	

※ 日時・場所が変更になる場合があります。 ※ 実技場所は一部未定です。

※ 机上講習開始時刻は13:30です。但し、★印講座は09:30開始です。

●受講料

1 年間講座 20,000円 2 単位科目(机上・実技を含む) ... 3,000円

※ 実技の交通費、教材は自己負担となります。 ※ 単位科目は実技・机上をセットとします。

●受講資格

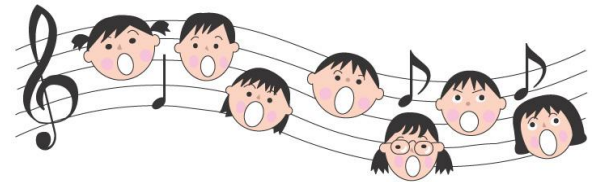
- 1 労山会員は遭対基金3口以上の加入者とする。
- 2 県連盟外の受講者は民間山岳保険に加入すること。
- 3 年齢性別は問いません。

●募集人員(定員になり次第募集停止します。) 定員.....30名

♪みんなの歌♪ **早春賦** 作曲者 中田 章 作詞者 吉丸 一昌

題名の賦は、辞書によると“漢詩・漢文の一体。詩。歌。”とのこと。 「早春の歌」の意味ですね

- (1) 春は名のみ 風の寒さや 谷のうぐいす 歌は思えど
時にあらずと 声もたてず 時にあらずと 声もたてず
- (2) 氷融け去り 葦はつのがむ さては時ぞと 思うあやにく
今日も昨日も 雪の空 今日も昨日も 雪の空
- (3) 春と聞かねば 知らでありしを 聞けばせかるる 胸の思いを
いかにせよと この頃か いかにせよと この頃か



《編集後記》

3月に入りあちこちで梅も咲き始め、今月末には桜も咲きだし、里山にも、もうすぐ春がやってきますネ!花を見て喜ぶのは女性だけではありませんよね。男性も色んなハナが好きですよ...?

皆さんの会では定期総会で忙しい頃になりますが、是非今まで中々参加できなかった方、ご無沙汰の人、花見山行などに参加して親睦を深めて下さいね。労山会員、皆が待っていますよ~。

高い山では雪崩も心配です。安全登山を計画実行しましょう。

157号は原稿締切、4/2(金)です。内容は『第43回埼玉県連定期総会報告』、『山スキーネット報告』『応急手当講習会』『救助隊関東B交流雪山搬出訓練』等の予定です。お楽しみに...

第15回春の植樹デー

今年も埼玉県連では県連行事として協力・実施する予定です。

多くの参加者で足尾に緑を取り戻そう!

日時：4月25日(日)

場所：足尾銅山周辺(詳細はまだ未定)

内容・詳細は各ブロックで協議しています。

是非、今から予定して参加してくださいネ!!



主催